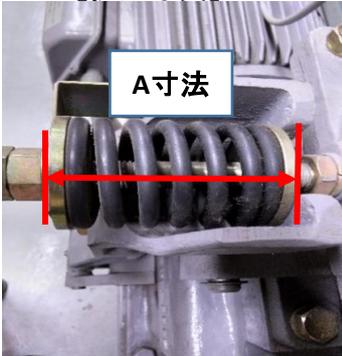
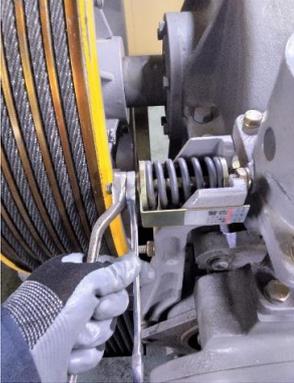


作業手順書		管理番号	21-401-013-01	
SKE-850F(制動スプリングシングル/ダブルタイプ 手動開放レバー有り)改善措置作業手順書		制定日	2021年8月5日	
		改訂日		
作業人数	2名	承認	審査	作成
改善部品	①M8×50ボルト:1本 			
総時間	60分(No.1とNo.2の時間は省く)			
No.	作業手順			
1 標準時間 5分間	<b>作業前の段取り</b> 作業責任者は、作業現場を確認し、状況に応じて、現場作業段取りの概略を同行の作業員に伝える。 作業責任者は、同行の作業員に対し、「安全作業」を改めて伝える。			
2 標準時間 15分間	<b>【重要】</b> カゴは最上階にし、カウンターウェイトを最下階にしてバタ角材等で固定して下さい。 エレベータ制御盤電源停止OFF状態にしてから作業を開始する。			
3 標準時間 60分間	<b>巻上機設置参考写真を示します。(制動スプリングダブルタイプ)</b>  <b>【作業手順書を示します】</b> ①左右側の制動スプリング締込み量のA寸法をノギスで測定して下さい。 <b>【拡大写真】</b>  ②スパナ等で制動スプリングを止めているダブルナットを外し、左右側のブレーキアームを開放して下さい。 <b>【反メインシーブ参考写真】</b>  			

No.

作業手順

③コイルケースカバーを固定しているナベネジ4本を外して下さい。



④コイルケースカバー側面部の端子BOXのナベネジ4本をプラスドライバー緩めて結線を外して下さい。

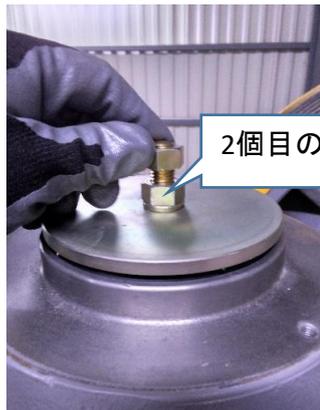


⑤スパナ、メガネレンチ等を使用してカバープレートを外して下さい。



⑥1個目のナットを外し2個目のナットを外すときは鉄芯当て板側面部の六角穴付止めネジくぼみ先に六角レンチを取付け固定して、スパナ等で2個目のナットを緩め外して下さい。

【当て板側面部の六角穴付止めネジくぼみ先:赤丸部】



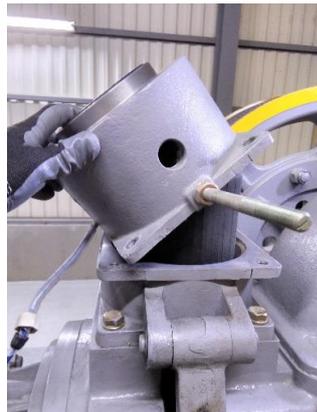
No.

作業手順

⑦カバープレートを外して下さい。



⑧コイルケースの4本ボルトを外して、コイルケースとブレーキコイルを外して下さい。



⑨可動鉄芯と遮磁板を取外して下さい。

【可動鉄芯】

【遮磁板】



⑩反メインシープ側のブレーキ開閉レバーを外して下さい。

a: Eリング(再利用)をマイナスドライバーで外して下さい。



No.

作業手順

b: プラスチックハンマーで叩いてピンを抜きます。  
(マイナスドライバーをピン端部に当て叩いて下さい)



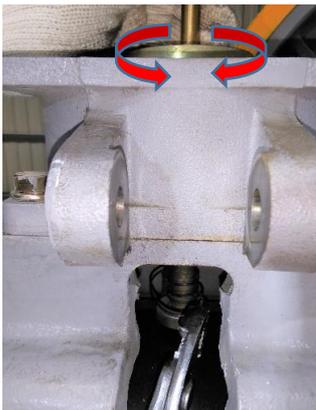
c: ピンを抜くとブレーキ開閉レバーが取外せます。



⑪ 鉄芯ロッドのバネを確認します。(白丸部)



⑫ プライヤー等を使用して、バネ端部を加えて鉄芯ロッドを回転(右回転又は左回転)させながらバネを外して下さい。



【バネを外した時の写真】



No.	作業手順
	<p data-bbox="274 181 582 210">【再組立て手順を示します】</p> <p data-bbox="274 210 758 239">⑬ブレーキ開閉レバーを取り付けて下さい。</p> <p data-bbox="274 239 1487 304">ピン表面部に錆、傷等がある時はサンドペーパー(1000番台等)で除去してから、ピン表面部にモリブデングリスを塗付して下さい。</p> <div data-bbox="282 304 598 716">  </div> <p data-bbox="805 304 1295 336">ピン両側にEリング(2個)を取付けて下さい。</p> <div data-bbox="801 336 1091 716">  </div> <p data-bbox="274 728 730 759">⑭ブレーキコイル内部を清掃して下さい。</p> <p data-bbox="274 759 943 792">清掃後は、遮磁板、可動鉄芯の順番で組み付けて下さい。</p> <p data-bbox="274 792 1179 826">* 鉄芯ロッド外径部及び可動鉄芯の外径部にモリブデングリスを塗付して下さい。</p> <div data-bbox="282 828 598 1240">  </div> <p data-bbox="274 1249 920 1283">⑮コイルケースカバーとブレーキコイルを取付けて下さい。</p> <p data-bbox="363 1283 531 1314">【注意ポイント】</p> <p data-bbox="805 1283 1342 1314">コイルケースの4本ボルトを増し締めして下さい。</p> <div data-bbox="282 1314 598 1727">  <p data-bbox="300 1541 443 1693">ブレーキコイルケーブルはコイルケース切り欠き部を通すこと</p> </div> <p data-bbox="801 1314 1133 1727">  </p>

No.

作業手順

⑩カバープレートを取付けて下さい。  
 スプリングワッシャー、1個目ナットの順で組み付けて下さい。  
 鉄芯当て板側面部の六角穴付止めネジくぼみ先に六角レンチを取付け固定して、スパナ等で1個目のナットを増し締めして下さい。(スプリングワッシャーが潰れる程度)



【当て板側面部の六角穴付止めネジくぼみ先: 赤丸部】



⑪2個目のナットをスパナ、メガネレンチ等を使用してカバープレートを取付けて下さい。  
 増し締め後は、ダブルナットに合いマークを記入して下さい。



⑫プランジャースローク寸法を基準値内に調整して下さい。

定期点検マニュアル(SKE-400F、SKE-450F、SKE-500F、SKE-600F、SKE-750F、SKE-800F、SKE-850F)  
 管理番号: 11-401-010-06を参照下さい。

プランジャースローク寸法を測定下さい。

【以下、測定時の参考写真】



No.

作業手順

⑲コイルケースカバー側面部の端子BOXの結線(ブレーキコイル含む)をして、ナベネジ4本をプラスドライバーで締めて下さい。



⑳手動開放レバーの改善装置の手順を示します。  
既存手動開閉レバーの調整ナットを取外し、対策押しボルト(M8×50)に交換します。(赤丸部)



㉑コイルスプリング取外しと対策の押しボルト交換後は、改善完了済シールを、ブレーキコイルのコイルケース蓋上部又は側面部に貼付けて下さい。

【参考写真】

